

後輩へのメッセージ

絵本は心のごちそう・プロジェクト

本プロジェクトでは、「絵本は楽しむものである」という考えのもと活動を行いました。

読書経験が後々学習の役に立つことも勿論ありますが、はじめから何かに役立たせることを目的とするのではなく、まずは純粋に物語や世界観に触れ、絵本を読んだ人に「楽しい」「面白い」と感じてもらう機会作りを目指しました。

その場限りの1冊が与える影響は小さなものですが、それを契機に絵本により深く関わる人がいるかもしれないという思いから「きっかけの提供」を続けてきました。

絵本の対象は幼い子供に限りません。大人になっても懐かしい絵本との再会や新たな出会いを経験することができます。大人と子供、それぞれに絵本の楽しみ方があり、その両者への橋渡しを担えるのは私たち大学生だからこそだと考えます。

留学生と創る！！「祇園祭を支える町衆文化読本」制作プロジェクト（伝統文化継承と地域文化創成の観点から）

私たちのプロジェクトでは、読本制作という大きな活動を軸に、一年かけて様々な活動を行ってきました。「これといって頑張っていない今の学生生活を変えたい」「人に流されるだけで自分の意見を言えない自分を変えたい」そういった思いで私はこのプロジェクト科目を履修することになりました。今まではしたことのないまとめ役や社会の方との関わり、企画書の作成、学外の方への読本のプレゼンなど、大変だったことは数多くあります。しかしその分私は大きく成長し、自分を変えることが出来たと実感しています。苦しいときは支えてくれ、案を出しても受け止めてくれるメンバーがプロジェクト科目には必ずいます。私と同じように「変わりたい」と思っている方はぜひプロジェクト科目を履修してみてください。

京都の伝統織物で感動を！ 魅力発見プロジェクト

いきなりですが、あなたは京都の錦織物が世界で最も優れた織物と呼ばれているその理由を知っていますか？美しいから。歴史があるから。これらも確かに理由のひとつです。しかし、「なぜ」美しいのか、「どのような」歴史があるのかについては、その理由を知っていますか？

私たちのプロジェクトではまず実際に織物に触れ、職人の方々に取材することで、メンバー各々で織物やその背景にある歴史、職人の方々の持つ魅力について、この目を通じて深く学んでいきました。そして秋から冬にかけて、それを独自の形にかえ京都の錦織物の素晴らしさを発信するための企画を一から計画しました。企画立案は時に困難でしたが、メンバー全員で協働する一体感、そしてアイデアを形に出来た時の達成感は格別で、このプロジェクト活動が私の学生生活の中で最も充実した時間となったと自信をもって言うことができるほどです。

錦織物の美しさの理由や京都の伝統文化に興味がある方はもちろん、学生生活で自信を持って頑張ったと言える経験を得たい方にも是非参加してもらいたいです。新しいチャレンジを通じて、1年後に成長した自分自身に出会ってみませんか？

プロバスケで地域を盛り上げよう！ ～社会的課題をスポーツで解決

当プロジェクト科目はまさしく自由です。自分たちで一から課題を調査し、企画を立てる。更にもその企画をよりよいものにするために、専門家へアポイントをとってヒアリング調査を行う。このように私たち自身ですべて進めていきます。勿論厳しい意見をいただくことや日程的にハードな期間もあります。しかし自分たちが出したアイデアが実際に目に見える形になっていくのは非常にやりがいがあり、大きな達成感を味わうことができます。

何もしないとあつという間に過ぎ去ってゆく大学生活。何かを成し遂げたい、頑張りたいという思いを口に出すのは少し恥ずかしいことかもしれませんが、けれど安心してください。プロジェクト科目にはこのような思いを抱いている学生が集まります。“やってみよう”という自分の思いを大切に是非挑戦してみてください。

西陣のモノづくり産業の見える化と 交流促進を通じた地域活性

本プロジェクトの先輩方や私たちの他にも、地域活性化を目指して活動している団体・学生はたくさんいるでしょう。それにも関わらず次々にこのようなプロジェクトや団体が発足するのは、それくらいの「継続」が大切だということを示していると思います。私たちはこのプロジェクトを通して、自分たちに足りないことを考え、行動に移し、かつ自分がやりたいことや考えを邪険にせずしっかり持ち続けることの大切さをまじまじと体感しました。継続を胸に、これからの西陣地域の活動に参加してもらえると嬉しいです。

学生×N G Oで取り組む！ 地域～世界の課題に発言・提案しよう！

プロジェクト科目は、学部も学年も違うメンバーが一体となって取り組む科目です。SNSで外部とコンタクトをとるのが得意な人、文章の推敲や細かな作業が得意な人、それぞれ得意とする分野が違うことが、ほかの科目にはない面白さだと思います。

しかし、分担はするけれど、1つの方向に向かっていく意識は絶やさないと重要だと感じました。自分が一連の取り組みのなかで、どの役割を担っているのか。ほかのメンバーと連携するのは、自分だけが突っ走らないためにも、一歩抜きんでたアイデアを生むためにも必要だと思います。

特に、この科目は掲げる目標や行うイベントを履修生が決めることができるので、個人のかも連携のかも大きく成長させることができると思います。社会に出る前に経験を積みたいという方は履修してみてください。

あなたがプロデュース! KYOTO和婚の魅力を世界に発信プロジェクト

プロジェクト科目では、バイトより大変なことをしても報酬は出ません。しんどいこともあります。そこで、この科目を頑張るためのコツを教えます。

それは、何よりも自分のために行動することです。

プロジェクトを通して学べるのは、シラバスに書いてあることだけではありません。正解も完成もないので、他のどの授業でも得られない気づきと学びを大量に得られます。先生方は協力してくださるし、大学のお金も使えます。こんな幸運はありません。ですから最大限学ぶべきです。一年後に生まれ変わった自分のことを考えて取り組みましょう。すると、しんどくてもやる気が出ます。自分以外にイライラすることも減ります。

そして、ここで気をつけるのは、決して妥協しないことです。妥協したら、せっかくの学びを取りこぼしてしまいます。失敗したり、人に迷惑をかけたりすることもあります。そこはしっかり反省しつつ、妥協はしない。初めてで難しいことも、妥協だけはしない。あれもこれも、全ては自分のために！頑張ってください！

クラシック音楽のコンサートを創ろう！ ～アートマネジメントが抱える課題に挑戦～

コンサートの発案者として一年間責任を感じつつも楽しく活動できました。実は私はコンサートの発案者でありながら、大学に入るまでクラシック音楽を高尚で近寄りがたいものだと思っていました。しかし、大学で知り合った友人の影響で、クラシックの楽曲が持つ意外な俗っぽさや作曲家の人間味あふれるエピソードを知り、クラシック音楽を身近に感じられるようになりました。自分がクラシック音楽に親しみを感じるようになった経験を活かして何かできるのではないかと思い、本プロジェクトに参加しました。クラシック音楽に精通している人だけでなく、かつては嫌いだったという人も、いまだによくわからないという人も集まって一つのゴールを目指すのが本プロジェクトの醍醐味だと思います。

メディアを活用した歴史まちづくり観光 (宇治市をフィールドに)

宇治の人々にもっと自分の住む場所に誇りと愛情を持ってほしい！そのために私たちはラジオ・映像作品を用いて宇治の魅力を伝えました。伝えるべきものはたくさんありました。それは川にあり、神社にあり、人にありました。それらの素材を集めるためにインタビューやフィールドワークを行い、その過程で身近な足元に素晴らしいものがたくさんあるということを知りました。

普段の大学生活を送る上で、自分の住む地域と自分自身の関わりを見つけるのは難しいかもしれません。このプロジェクトで計画を成し遂げる過程を学べたとともに、自分自身の住む地域に関心を持つことの大切さを知りました。

皆さんも普段の授業でできないような事をこのプロジェクトを通して実践してみてください。

京都から『美味しい食育』発信プロジェクト！！ (身体に優しい食べ方開発プログラム)

食というのは、私達が生きていく上で必要不可欠な三大要素のうちの1つです。毎日食べているものが体にどのような影響を与えているのか。どのような病気に繋がってしまうのか。健康で長生きするために、この食育というのは学生のうちから学ぶべき必要のある知識だと感じました。今回私達は3つの言葉をキーワードとしてグループに分かれ、多くの企業や店舗と協力のもと調査などの活動を行い、課題に取り組んできました。生活の質を高める食生活について学び、課題を見つけ出し、調査をし、その結果を分析・解決する。この、生きる力となる食について考えるということをより多くの学生に経験してほしいと思います。

地域課題解決に資する コミュニティカフェのデザイン

私たちのプロジェクトでは、実際にコミュニティカフェに訪問したり、カフェをデザインしたりしました。カフェを作る！というのは楽しそうですが広報や企画書、ロジ回りなどしなければならぬことが多く、とてもハードなスケジュールでした。途中で履修中止すればよかった、と思うことも少なくはありませんでした。しかしメンバーと紆余曲折ながらもプロジェクトを達成のために動いた時間はとても充実していたと思います。今後履修するか迷っている人たちもぜひトライしてほしいという授業でした。